

地域連携通信

VOL.8 2017年8月

社会医療法人芳和会
くわみず病院



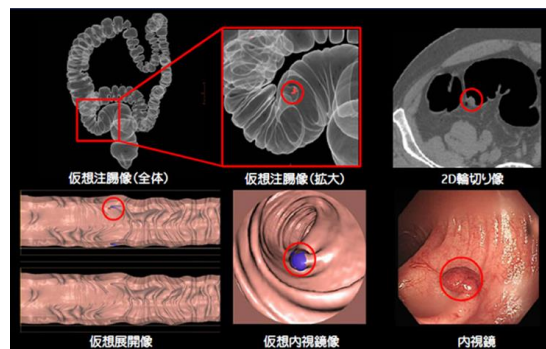
〒862-0954 熊本市中央区神水一丁目14-41
TEL: 096-381-2248 (代表) FAX: 096-381-0779
URL: <http://www.kuwamizu.jp/>
発行責任者: 山田 奈保美

暑中お見舞い申し上げます。
暑さ厳しき折ですが、皆様くれぐれもご自愛ください。

当院では2017年8月より、 新しい大腸がん検査(大腸CT)を導入しました。

マルチスライスCTといわれる画像撮影装置を使用し、デジタル画像データを活用することで、多彩な大腸の三次元画像を表示できます。体位変換が困難な方や、内視鏡検査の実施が困難な方にも行えます。なお、CT検査で病変が見つかった場合、後日内視鏡による検査や治療が必要となる場合があります。

詳しくは、当院外来までお問合せ下さい。
連絡先: 096-381-2248 (病院代表)



地域連携学習講演会を開催しました。

2017.6.2

熊本ホームケアクリニック院長 井田栄一先生を講師に迎え、「ときどき入院、ずーっと在宅」を支える在宅医療というテーマで講演をしていただきました。地域の開業医の先生方や看護師さんの参加もありました。くわみず病院の役割として、地域包括ケアシステムの中で、「ときどき入院」する患者さんに質が高いだけでなく、患者・家族の思いに寄り添った医療・看護を提供し、安心して「ずーっと在宅」に戻れるよう、早期からの退院支援を強化していくことが重要であると再認識しました。そして地域の方々が安心して住み続けられるよう、連携医療機関や施設、在宅サービス事業所との連携をさらに強化していくことが必要だと感じました。





頑張ってます! 研修医

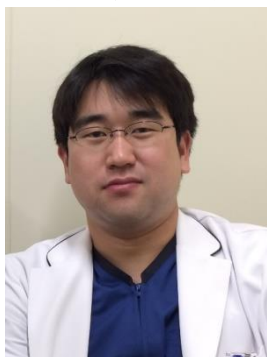


(まつもと なみ)
松本 奈美



くわみず病院初期研修医の松本奈美です。出身は熊本県の下益城郡城南町(現在南区)出身で高校は第二高校に通っていました。高校生医師体験でくわみず病院にお世話になったのをきっかけに奨学生になりました。当時、患者さんの生活に寄り添い、根本から問題を解決していこうとする病院スタッフの皆様の姿勢に大変感銘を受けたのを今でも覚えています。くわみず病院での初期研修が始まって三ヶ月が過ぎようとしています。毎日わからないことばかりで、それを解決したり、できなかつたりしながら日々過ごしています。幸いにも指導医の先生をはじめ、医局の先生方、病院のスタッフの皆さんが大変親切に手助けして下さいますし、わかりやすく業務や手技、病態のことを教えてくださいます。人、環境に恵まれて、充実した無理のない研修をさせていただいています。今後は少しでも病院のために、芳和会、民医連を支えていくような働きが出来たらと思っています。そのためにも、今は日々ぶつかる壁に少しずつ穴を開けながら頑張っていきたいと思います。

(しのめ よしあき)
東雲 芳朗



熊大卒、3年目医師の東雲芳朗です。初期研修の最初5か月間はくわみず病院で研修しておりましたが、その後は鹿児島や長崎でのローテートを経て、今年3月より戻って参りました。現在は家庭医療専攻医として勉強を始めたばかりですが、勉強不足を痛感しております。救急や予約外外来の機会が多いため、地域の先生方とのより良い医療連携をこなせるように、益々頑張っている所存です。若輩者で恐縮ですが、よろしく願いいたします。

第1回くわみず病院介護施設連携の会を開催しました。 2017.6.17
13事業所、27名の参加がありました。

初めての介護施設との連携の会・・・テーマを決めるのに悩みましたが、高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防に役立てばと思い「食事・嚥下に関する話」にしました。事前アンケートで出た結果(食事時のポジショニング、拒否や抵抗のある方の口腔ケアの方法、訓練食の具体的量を知りたいなど)を参考にし、当院の栄養サポートチームによる

- ①嚥下について(言語療法士)
- ②食事について(管理栄養士)
- ③口腔ケアについて(歯科衛生士)

の講義とグループでの意見交換を行いました。最終アンケートでは、また参加したい、勉強になったといううれしい意見や、テーマに関しては看取り期の医療との連携、尿路感染症についてしてほしいという意見がありました。次回の参考にしたいと思います。

